

# 伊豆縦貫自動車道だより

◎「トークテラス」・「保育教育関係者意見交換会」の結果から具体的な問題を整理してみました。◎

## 「保育教育関係者意見交換会」・「トークテラス」から見てきた具体的な(期待の声・不安の声)問題のまとめ

### 「期待の声」

◎◎トークテラスでは、とても多くの声◎◎

「伊豆縦貫道早期完成」・「天城区間の早期開通」を望む声

### 「不安の声」

ルート(帯)変更(再考)を望む声

更なる問題の絞り込み

※「不安の声」から3つの具体的問題(大枠)が明らかになりました※

①文教地区通過

②ルート帯とルート(案)検討過程

③環境

#### ①文教地区通過の問題とは？

- 高架から車・物が落下した場合の通学路に対する対応、工事中及び整備後の交通量増加に伴う安全対策。
- 工事中の騒音、整備後の通過交通による騒音に対する学習環境への影響。

#### ②ルート帯とルート(案)検討過程の問題とは？

- 各ルート帯(A・B・C)のメリット・デメリットが良く分らない。現在ルート(案)が最善なのか、説明不足で良くわからない。

#### ③環境の問題とは？

- 家の側を通る事により、騒音・大気汚染・日照が心配。高架道路による景観への心配。移転補償の心配。

## 見えてきた問題に対し、国・県・市で協議・再検討を行いました

### ◎ルート帯のメリット・デメリット比較◎

伊豆縦貫道の整備目的:渋滞緩和・事故削減・地域振興に加え、新たに防災の面を考慮して、ルート帯を「Aルート」が最適と判断。

### ◎ルート(案)の選定(川側ルート、山側ルート)◎

数々の配慮ポイントを総合的に判断し、特に「移転家屋数」「温泉への影響」を考慮、その中で、学校等を直接通過させない、山側ルート(案)が最適と判断。

### ◎環境に対する配慮◎

工事実施前の最新予測に基づき、環境保全対策(大気・騒音・日照等)、学校環境への配慮を施し環境基準を遵守して事業を進めていきます。  
また、工事時の安全対策は細心の注意を図り進めていきます。

# 伊豆縦貫道都市計画原案説明会（追加説明会） 開催状況のご紹介（H25.1.23・H25.3.4開催分）

※平成 25 年 1 月 23 日「箕作・相玉地区詳細説明会（第 4 回）」於：箕作区民会館にて開催。

※平成 25 年 3 月 4 日「立野地区詳細説明会（第 3 回）」於：稲生沢公民館にて開催。

（2 日間の総来場者数 60 人）。



H25.1.23 箕作・相玉地区（第 4 回）（箕作区民会館）

来場者 25 人



H25.3.4 立野地区（第 3 回）（稲生沢公民館）

来場者 35 人

## 箕作・相玉地区の声

○将来の子供のために協力しなければならないと思う。

○道路を活用するためには、インターが無いと意味がないので作ってほしい。

Q：これから、どのような説明があるのか？

→A：この地区の皆さんについては、Ⅱ期区間という事で、調査に入る為の計画説明会を行い、その後個人の見解を細かく聞き入れる意見交換会を行って行きます。

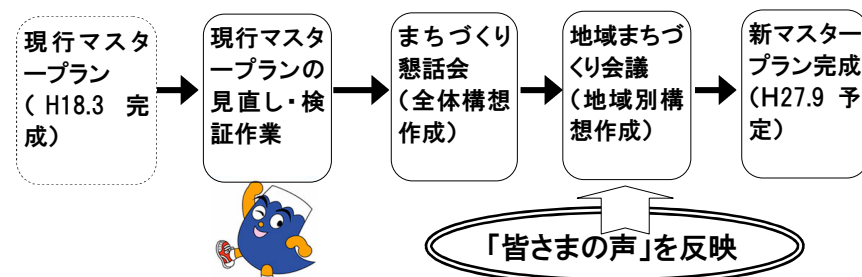
## 立野地区の声

○事業者の国に対し、下田の地元業者が元請となれる工事発注方法を検討し、国にお願いしてほしい。

○伊豆縦貫道の具体的な計画の前に、まちづくり（稲生沢地区）の話をするのが良い。

○文教地区を通過するルート案は、見直してほしい。稲生沢出身の先生の声をお聴きください。保育園からの意見は？署名についてはどう考えるか。

## これから「まちづくり」(都市マスタープラン改訂)で対応していきます！



市では、都市づくりの基本的な方針となる「まちの設計図」(都市マスタープラン)の改訂作業を、平成24年度より始めております。現在、現行の都市マスタープラン(H18.3 策定)の見直し検証を行っており、今後発表される「南海トラフ地震」での静岡県第4次被害想定を加味した中で、下田市の全体構想を「まちづくり懇話会」の中で作成していきます。続く地域別構想を「地域まちづくり会議」の中で、市内各地区にお伺いし市民の皆さまとお話し合いを進めてまいります。今回いただいた「不安の声」(通学路・生活道路改善、高架道路の景観、高架下の活用等)を「地域まちづくり会議」のお話し合いの中で、皆さまと供に作り上げ、「まちの設計図」(都市マスタープラン)に反映するようにすすめてまいります。



**伊豆縦貫道の計画をご理解いただくため、これからも皆様と対話を続けてまいります。(立野地区詳細説明会(第4回)開催予定)**